

## ハクトウワシ

英名は“Bald Eagle”（ボールド・イーグル）。毛のない、はげた、頭に白いまだらのあるワシという意味になります。ところがハクトウワシは、まさにその名の通り、真っ白な頭と尾をしていて、立派な白髪がふさふさしています。

初代大統領ジョージ・ワシントンが、ナショナル・エンブレム（国家の紋章）として、その風格、気品からハクトウワシを選んだ時、ベンジャミン・フランクリンは「ハクトウワシは臆病でなまけ者で、自分では獲物を追わず、自分より弱いタカから餌を盗む鳥である。むしろワイルド・ターキー（七面鳥）のほうがふさわしい」と批判しました。さすがフランクリンらしい科学的な観察です。しかし、1782年に、ハクトウワシが正式に合衆国の紋章として制定されたことは、ご存じの通りです。

学名は *Haliaeetus leucocephalus*

*Haliaeetus* はオジロワシ属の属名で、世界で8種、日本にはオジロワシとオオワシの2種がいます。*leucocephalus* は種名で、頭の白い、しろがしらの意味であり、属名と種名の組み合わせで、「頭の白いオジロワシ属の一種」ということになります。分布はアラスカ、カナダ、アメリカ西海岸及びフロリダであり、日本では見られません。海岸線や湖水のほとりに住み、確かに弱った魚や釣り人の捨てた魚を主食にしているようです。

アメリカではとてもポピュラーなワシで、イーグルといえば、一般的にはこのハクトウワシを指しています。そのせいか他にもいろいろな呼び名がついています。列举して見ますと、

American Eagle

Black Eagle

Fishing Eagle

Gray Eagle

Washington Eagle

White-headed Eagle

White-headed Sea Eagle

これらは易しいので、和訳の必要もないと思いますが、それぞれその特徴をよくとらえています。ただ、Black Eagle は、幼鳥が全体に黒っぽいからでしょう。

大宮のハクトウワシ